

イベントのお知らせ

2017年度東奥義塾高校所蔵 旧弘前藩藩校稽古館資料調査報告会開催のお知らせ

弘前藩の藩校である「稽古館」が所蔵していた古典籍は、現在、主に東奥義塾高等学校図書館に引き継がれています。また弘前藩藩主の所持本「奥文庫」の一部や江戸上屋敷にあった藩校「弘道館」の蔵書も含まれています。これらの本は、近世の津軽地域における文化の有り様や、知的営為を伝える貴重な資料です。

この調査報告会は、2014年度から開始した調査に合わせて毎年行っているもので、今年で4回目になります。今年、慶應義塾大学から和歌がご専門の小川剛生先生を講師にお招きし、将軍や大名の和歌蒐集や津軽家の歌書についてご講演をいただきます。また調査に関わる教員や学生が、各専門分野の立場から最新の研究成果を報告いたします。

1. 日時：平成29年12月17日（日）
13:00～16:30（開場12:30）
2. 場所：弘前大学人文社会科学部棟4階多目的ホール
【会場定員 100名】（弘前市文京町1番地）
3. 主催：弘前大学人文社会科学部
弘前大学人文社会科学部 地域未来創生センター
4. 共催：東奥義塾高等学校・株式会社北原研究所
5. 後援：弘前市・東奥日報社・陸奥新報社
6. 対象：100名 一般の方
7. 参加料：無料
8. 申込み：事前申し込み不要・当日参加可能
（会場の定員になり次第、締め切らせていただきます。）
9. 問い合わせ先：弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター（古川・渡辺）
住所：青森県弘前市文京町1 電話：0172-39-3198
E-mail：irrc@hirosaki-u.ac.jp 平日10:15～17:00
10. プログラム

- 13:00～13:10 開会挨拶
13:10～14:00 第一部【基調講演】
講師 慶應義塾大学 文学部 教授 小川 剛生 先生
14:00～14:15 ～休憩～
14:15～16:20 第二部【研究発表】教員・院生による今年度調査報告
16:20～16:30 コメント
16:30 閉会挨拶



**経済産業省補助金事業 平成29年度産学連携サービス経営人材育成事業
「めざせ！じょっぱり起業家。青森の魅力を高める中核人材育成事業」
平成29年度成果報告会開催のお知らせ**

開催趣旨

経済産業省「産学連携サービス経営人材育成事業」は、教育機関においてサービス事業者とコンソーシアムを組成し、専門的・実践的なサービス経営教育プログラムを協働で開発することに対し、支援をおこなう事業です。この背景には、日本及び地方の経済成長を実現するためには、GDPの約7割を占めるサービス産業の生産性向上が必要であり、そのための人材育成が求められているものの、サービス産業の経営に特化した専門的、実践的な教育機関が不足しているという問題があります。

弘前大学では、本事業の採択を受け、「めざせ！じょっぱり起業家。青森の魅力を高める中核人材育成事業」と題し、地方におけるサービス分野で活躍できる起業家を育成し、地域経済の成長の実現をめざします。

今回の報告会では、地域のサービス企業から与えられた課題をもとに考えた「学生による青森の魅力を高める事業企画提案」を発表します。

1. 日 時： 平成29年12月22日（金）15：00～17：30

2. 会 場： ヒロロ4階 市民文化交流館ホール（弘前市駅前町9-20）

3. テーマ： 「学生による青森の魅力を高める事業企画提案～大学生のチャレンジ2017～」

4. プログラム：

（14:30～） 【受付開始】
15:00～15:05 **開会挨拶** 弘前大学副理事 森 樹男
15:05～17:30 **学生による取組成果発表**
一協力企業先一
①株式会社あおもり海山
②企業組合でる・そーれ、津軽鉄道株式会社
③株式会社楽天野球団（東北楽天ゴールデンイーグルス）
④株式会社コンシス
⑤一般社団法人青森県発明協会（順不同）
17:30 **閉会**

5. 参加対象： 本学教職員及び学生、国公私立大学、高校、企業関係者、行政関係者、一般市民

6. 参加費： 無料

7. 主 催： 国立大学法人弘前大学

8. 参加申込： 参加を希望される場合は、氏名・所属・電話番号・メールアドレスを記載のうえ、下記担当まで平成29年12月20日（水）までに、eメール等でお申し込みください。

【問い合わせ先】：弘前大学人文社会科学部
サービス経営人材育成事業事務局（総合教育棟2階）
TEL：0172-39-3978（担当：中屋敷）E-mail：sjinzai@hirosaki-u.ac.jp

「シンポジウム 裁判員裁判を地域に根づかせるために」のお知らせ(再掲)

裁判員制度が施行されて8年が過ぎましたが、制度が市民に十分に浸透したとは言い難い状況にあります。このシンポジウムでは、どうすれば市民に裁判員制度について深く考えてもらえるのか、そして市民が裁判を通じて地域の様々な問題を自分の問題として捉えることができるかについて考えたいと思います。そのため、学校教育における法教育の在り方や市民への裁判員制度の情報提供の先駆的な取り組みなどを紹介し、それらを踏まえて裁判員経験者を交えたパネルディスカッションを行います。

1. 日 時 : 2017年12月2日(土) 14:00~17:30
2. 場 所 : 弘前大学人文社会科学部棟4階多目的ホール
3. 対 象 : 本学教職員, 学生, 一般の方等どなたでも(参加無料)
※事前申し込みは不要です。

4. 内 容 :

- 第1部 講演**
 藤井 剛(明治大学文学部教授)
 「学校現場の法教育」
- 第2部 報告**
 宮崎 秀一(弘前大学教育学部教授)
 「地域の世代間対話を促す模擬裁判+模擬評議~『コミュニティ・コート』の構想~」
 飯 考行(専修大学法学部教授)
 「裁判員制度を育てる市民活動—裁判員ラウンジと大学での模擬裁判を中心に」
- 第3部 パネルディスカッション**
 コーディネーター: 飯 考行
 パネリスト: 藤井 剛, 宮崎 秀一, 法曹関係者, マスコミ関係者, 裁判員経験者, 学生など
5. 主 催 : 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター
 弘前大学人文社会科学部・教育学部
 後 援 : 青森家庭少年問題研究会

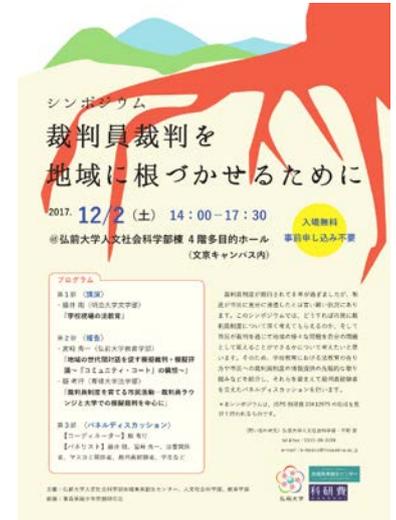
問い合わせ先 : 弘前大学人文社会科学部 平野 潔
 電 話 : 0172-39-3199
 E-mail : k-hirano@hirosaki-u.ac.jp

平成29年度FD委員会講演会のお知らせ(再掲)

日本の大学は、高大接続、入試改革、大学の統廃合等、様々な課題に直面する時代を迎えようとしています。これらの課題への備えとして、保健学研究科FD委員会では、「これからの大学に求められるもの」をテーマにした講演会の開催を企画しました。講師に、昨年の講演会が大好評であった小林浩先生を再びお迎えすることになりました。

私達の将来について“心構え”を持つために、小林先生の丁寧でわかりやすい講演に、ぜひお気軽にお越し下さい。

日時: 平成29年12月4日(月) 18:00~19:40
 会場: 弘前大学大学院保健学研究科 E棟6階 第63講義室
 演題: これからの大学に求められるもの
 対象: 弘前大学教員・事務員



***入場無料，事前の申し込みは不要です。

問い合わせ先：弘前大学大学院保健学研究科 学務グループ TEL：0172-39-5470

講師略歴

株式会社リクルート入社後，グループ統括業務を担当，「ケイコとマナブ」企画業務を担当。経済同友会に出向し，教育政策提言の策定にかかわる。その後，経営企画室，会長秘書，特別顧問政策秘書などを経て，文部科学省「熟議に基づく政策形成の在り方に関する懇談会」委員（2009年～2011年），文部科学省「大学ポートレート（仮称）準備委員会」委員（2012年～2014年），文部科学省中央教育審議会高大接続特別部会臨時委員（2012年～2014年），文部科学省中央教育審議会大学分科会大学教育部会短期大学ワーキンググループ臨時委員（2013年～2014年），文部科学省専修学校生への経済的支援の在り方に関する検討会委員（2014年～），文部科学省高大接続システム改革会議委員（2015年～2016年），文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会専門委員（2016年～2017年），文部科学省「これからの専修学校教育の振興のあり方検討会議」委員（2016年～2017年）等，数々の委員を歴任している。

情報処理学会東北支部研究講演会のお知らせ（再掲）

【日時】2017年12月6日（水） 14:20～15:50

【場所】弘前大学理工学部1号館 第10番講義室

【講師】湯浅 哲也 先生（山形大学教授）

【題目】「新しい原理に基づくX線CT：乳がんの早期診断を目指して」

【主催】情報処理学会 東北支部

【共催】弘前大学 理工学部 電子情報工学科

【要旨】現在の医療においてX線CTは不可欠な診断ツールである。しかし，X線は低原子番号からなる物質に対してはほとんど透過してしまうため，生体軟組織はほとんどコントラストを生じない。一方，乳癌の早期発見には軟組織の描出が欠かせない。ここでは，軟組織を描出するためのX線の屈折現象に基づくCT技術を紹介する。装置の概要と得られたデータから画像を生成するためのデータ処理法について述べる。

【対象】 学生・教職員，どなたでも参加できます。

問合せ先：長瀬 智行

〒036-8561 青森県弘前 市文京町3

弘前大学理工学部電子情報工学科

電話番号0172-39-3632，FAX番号0172-39-3632

E-mail: ipsj-hiro@eit.hirosaki-u.ac.jp

犯罪被害者遺族講演会

「最愛の娘を奪われて ～事件後、遺族にもたすもの～」のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2017年12月9日（土） 13:30～15:00

2. 場 所：弘前大学人文社会科学部棟4階多目的ホール

3. 対 象 : 本学教職員, 学生, 一般の方等どなたでも (参加無料)
※事前申し込みは不要です。

4. 講 師 : 山内 久子 氏
(秋田看護福祉大学教授, あおもり被害者支援センター理事)

◆講師プロフィール◆
1995年10月, 当時大学3年生であった長女は同じ大学の男子学生にストーカー行為を受け, 刃物により殺害された。
事件後数年間は家族の中でしか悲しみ・苦しみ・悔しさ等を共有できなかった。しかし, 事件後6年を経て看護関係の専門誌『看護教育』に手記を投稿したことが契機となり, 他の殺人事件の被害者遺族と初めて話し合うことが出来た。その後, 内閣府, 警察本部犯罪被害者支援室, 被害者支援センター, 少年院, 地方検察庁, 看護学校等からの依頼を受け講演活動を行っている。



5. 主 催 : 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター
後 援 : 青森家庭少年問題研究会

問い合わせ先 : 弘前大学人文社会科学部 平野 潔
電 話 : 0172-39-3199 E-mail : k-hirano@hirosaki-u.ac.jp

「子どもの貧困」について考える連続企画のお知らせ (再掲)

【企画趣旨】

平成26年に子どもの貧困対策推進法が施行され, 平成28年3月には青森県子どもの貧困対策推進計画が策定されるなど, 今, 「子どもの貧困」への対応が, 社会的に大きな課題として認識されています。この度, 青森県において「子どもの貧困」対策に関わる, 行政, 学校関係者, 福祉関係者, 地域の方々が一堂に会して, 青森県の施策や子どもたちの実情を知り, 支援についてともに考える場として, 下記の連続企画を行います。

1. “見えない「子どもの貧困」を考える” 共同学習会
(終了しました)

日時 11月24日 (金) 13:30~15:50
場所 アピオあおもり イベントホール
(〒030-0822 青森市中央3丁目17番1号)

内容 「子どもの貧困」に関わる青森県の施策について, 県健康福祉部こどもみらい課, 県教育庁学校教育課および生涯学習課からお話しただくとともに, 実際に, 子どもたちの支援に関わるスクールソーシャルワーカー, 地域の学習支援者から支援の現状を語っていただきます。

2. 「子どもの貧困」への支援を考える
—教育と福祉の出会いとこころ—

日時 12月9日 (土) 13:30~16:30
場所 弘前大学教育学部 2階大教室
(〒036-8560 弘前市文京町1番地)

内容 地域・学校・自治体の協働が進む宮城県の先進事例について門馬優さんの講演をお聞きした上で, 小・中・高校の先生方, スクールソーシャルワーカー, 地域の学習支援関係者に登壇していただき, 青森県における支援について考えるシンポジウムを行います。



両企画共通

対象：学校関係者，福祉関係者，一般市民 入場無料，事前申し込み不要
主催：弘前大学「子どもの貧困」をめぐる地域・学校・自治体の連携・協働推進プロジェクト（事業代表：吉田美穂・弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻（教職大学院））
共催：弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻（教職大学院）
後援：青森県，青森県教育委員会，弘前市教育委員会，青森県社会福祉協議会
お問い合わせ先：弘前大学教職大学院准教授 吉田美穂
電話 0172-39-3398 Email m-yoshida@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学白神自然環境研究所シンポジウム 「未来へつなぐ～津軽半島の豊かな自然～」開催のお知らせ（再掲）

1. 日時：2017年12月11日（月）
17時00分～19時30分（開場16時30分）
2. 会場：つがる市生涯学習交流センター「松の館」交流ホール
※ 会場への無料送迎バスを準備しております（先着50名）。
ご希望の方は、15時30分までに弘前大学正門前にお越しください。
15時30分に出発しますので、時間に余裕を持ってお越し願います。
なお、シンポジウム終了後、弘前大学への到着時刻は20時45分頃の予定です。
3. 対象：本学教職員，学生，一般の方 ※事前申込は不要です。



4. 要旨：

つがる市の湖沼群において、環境省が定める絶滅危惧IA類に指定された希少な水生植物「ガシャモク」が、新潟大学教育学部と弘前大学白神自然環境研究所、津軽植物の会の合同チームの調査によって確認されました。現存する自然個体群は、福岡県北九州市の一湖沼に次いで2例目であり、これまでの国内の北限とされていた場所を500km以上更新する新産地の発見となります。

この発見と津軽半島の豊かな自然環境を広く皆様に知っていただく為に、公開シンポジウムを開催いたします。講師には、第一発見者である 首藤光太郎 研究員（新潟大学），現存するガシャモク個体群がある北九州市において保全活動に関わる 真鍋徹 学芸員（北九州市いのちのたび博物館）の他、齊藤信夫 氏（青森自然環境研究会），石戸谷芳子 氏（津軽植物の会），中村剛之 准教授（弘前大学）の講演を予定しています。

5. 主催：弘前大学白神自然環境研究所，新潟大学教育学部，環境研究総合推進費4-1705「湿地の多面的価値評価軸の開発と広域評価に向けた情報基盤形成」研究チーム
6. 後援：環境省東北地方環境事務所，青森県，つがる市，津軽植物の会，青森県自然環境研究会

7. お問い合わせ先：

弘前大学白神自然環境研究所 山岸

電話・FAX：0172-39-3706

e-mail：hyama@hirosaki-u.ac.jp

詳細は当研究所HPをご覧ください。

<http://www.hirosaki-u.ac.jp/shirakami/>

大学院保健学研究科 第50回生体応答科学研究セミナー開催のお知らせ（再掲）

大学院保健学研究科生体応答科学研究センターでは、第50回生体応答科学研究セミナーを下記のとおり開催いたします。

今回は、米国の研究所で活躍されている秋山琢也先生を講師にお招きし、de novo突然変異による病気の発症の新しい遺伝学的コンセプトについてご講演いただきます。

最新の遺伝子学研究に関心がある方、海外での研究活動に興味がある方は是非お気軽にご参加ください。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 平成29年12月12日（火）18：00～19：00
2. 場 所： 弘前大学大学院保健学研究科 F棟1階
大学院講義室1（弘前市本町66-1）
3. タイトル： 「ショウジョウバエから学ぶ新しい遺伝学：
de novo突然変異が生物に及ぼす影響」
4. 講 師： 秋山 琢也 氏 (Senior Research Associate)
Stowers Institute for Medical Research (Kansas City USA)
5. 対 象： 教職員，大学院生，学部学生等
6. その他： 参加費無料，事前申し込み不要
7. 主 催： 弘前大学大学院保健学研究科 生体応答科学研究センター

【お問い合わせ先】 弘前大学保健学研究科 生体応答科学研究センター事務局（担当：浅利）
 電話：0172-39-5454 FAX：0172-39-5912
 E-mail：rcbs2016@hirosaki-u.ac.jp



**北日本新エネルギー研究所 新エネルギーフォーラム
『北方圏の「省エネ+創エネ」技術の展開連続セミナー in青森
～ 風とエネルギーのまちづくり ～』のお知らせ（再掲）**

日本国内の風力発電は、風車の設置基数で北海道，設備容量で青森県が各々一位を保有しており，比較的早くから風力発電を実用化してきた歴史がある。しかしながら海外の風力発電の成長スピードと比べると日本のエネルギーにおける風力の役割は小さく，今後の促進には北海道と青森県の果たすべき役割は大きいと言えます。そこで，本セミナーでは，北方圏における創エネ技術の雄である風力をとりあげ，その歴史から，地域との



かわり，課題，今後の展望に関して広く意見交換を通じて，みなさまの理解を深めていきたいと思
います。ぜひお気軽にご参加ください。

- 【日 時】平成29年12月14日(木) 14:00～17:00
- 【場 所】青森県水産ビル (〒030-0803 青森市安方一丁目1-32)
- 【定 員】100名
- 【参加費】無料
- 【対 象】一般市民，技術者，公務員，研究者など
- 【主 催】弘前大学北日本新エネルギー研究所，東北工業大学，
北海道科学大学
- 【後 援】青森県，青森市，弘前市，(一社)青森県建築士会，
(一社)青森県建設業協会，
北海道科学大学同窓会青森支部，東北工業大学同窓会青森県支部
- 【申込み】12月7日(木)までに，電話またはメールにてお申込みください。
→北海道科学大学教育研究推進課 TEL:011-688-2241 E-mail:kenkyu@hus.ac.jp
- 【問合せ先】弘前大学北日本新エネルギー研究所 総務グループ 石岡，工藤
TEL: 017-735-3363 E-mail: njne@hirosaki-u.ac.jp
- 【プログラム】

開会挨拶	弘前大学北日本新エネルギー研究所・所長 村岡 洋文	14:00～
特別講演	世界の風力発電の状況と東北・北海道の風力発電の展望 足利工業大学・理事長 牛山 泉 氏	14:05～
	休 憩 (10分)	
講演①	北海道における風力エネルギー 北海道科学大学都市環境学科・教授 白石 悟	14:55～
講演②	宮城県における風力エネルギー 東北工業大学環境エネルギー学科・助教 野澤壽一	15:25～
講演③	青森県における風力エネルギー 弘前大学北日本新エネルギー研究所・教授 本田明 弘	15:55～
講演④	洋上風力と漁業協調 弘前大学北日本新エネルギー研究所・教授 桐原慎 二	16:25～
閉会挨拶	東北工業大学・副学長 石川善美	16:55～

平成29年度「研究リーダー力向上支援セミナー」の開催のお知らせ(再掲)

文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)の一環として，補助事業連携機関や地域の教育研究機関・企業等における女性研究者の研究リーダーの資質・能力向上を目的とした「研究リーダー力向上支援セミナー」を開催いたします。講師は昨年度好評につき，今年度も慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 講師の富田欣和先生をお招きし，「組織内オープンイノベーションを促進するプロジェクトマネジメント」についてご講義をいただきます。お気軽にご参加ください。

記

◇日時：平成29年12月15日(金) 14:20～15:50



- ◇会 場：弘前大学創立50周年記念会館2階 岩木ホール
- ◇講 師：富田 欣和 先生（慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科講師）
- ◇参加費：無料
- ◇対象：事業連携・参加機関の他、関係機関・企業等の女性研究者・技術者・大学院生など
- ※分野・性別を問わず参加できます。
- ※連携機関：岩手大学，八戸工業高等専門学校，一関工業高等専門学校，農研機構東北農業研究センター，株式会社ミクニ
- ※参加機関：あおもりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク，いわて女性研究者支援ネットワーク
- ◇定 員：先着50名
- ◇申 込：12月8日（金）までに，件名を「12/15セミナー参加希望」とし，
①名前，②所属，③役職（学年の場合は学年），④連絡先（メールアドレスと電話番号）を添えてメールまたはファックスで事前に申し込んでください。定員に余裕がある場合は，当日参加も歓迎します。申込時にいただいた情報は，本事業以外に使用しません。
- ◇主 催：弘前大学，北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議
- ◇参照URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/5373.html>
- ◇申込先：弘前大学男女共同参画推進室
TEL：0172-39-3888/FAX:0172-39-3889
Email：equality@hirosaki-u.ac.jp
URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>

第11回弘大病院がん診療市民公開講座開催のお知らせ（再掲）

弘前大学医学部附属病院が主催で，一般市民を対象に公開講座を開催いたします。

肺がん，血液がんについて，専門家がそれぞれの立場から市民の皆様にわかりやすく講演いたします。講演後には質疑応答の時間を設けております。

1. 日	時	平成29年12月17日（日）13：00～15：30
2. 場	所	弘前市民会館 大会議室 弘前市大字下白銀町1番地6
3. 内	容	演題1 進歩する肺がん薬物療法 ～個別化治療，免疫療法を中心に～ 演題2 血液がんのいろいろ
4. 対	象	一般市民
5. 入	場 料	無料
6. 事	前 申 込	不要
7. 問	い 合 せ 先	弘前大学医学部附属病院がん相談支援センター TEL：0172-39-5174（直通）



**保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会
放射線リスクコミュニケーション教育部門講演会
「リスクコミュニケーション概論：放射線リスクの伝え方」開催のお知らせ（再掲）**

保健学研究科被ばく医療人材育成推進委員会 放射線リスクコミュニケーション教育部門では，

リスクコミュニケーション、特に放射線リスクの伝え方を考えることを目的として、表題の講演会を下記のとおり開催いたします。

リスクコミュニケーションに関心がある方、放射線のリスクを説明する機会のある方、将来的には機会があるかも知れないという方、福島で支援を行っている方は是非お気軽にご参加ください。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 平成29年12月21日（木）
17時50分～19時30分（質疑応答含む）
2. 場 所： 弘前大学大学院保健学研究科 F棟1階 大学院講義室1（弘前市本町66-1）
3. タイトル： 「リスクコミュニケーション概論：放射線リスクの伝え方」
4. 講 師： 小野田 眞 氏
(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
放射線医学総合研究所)
5. 対 象： 教職員，大学院生，学部学生等
6. 参加費： 無料
7. 主 催： 弘前大学大学院保健学研究科
被ばく医療人材育成推進委員会
放射線リスクコミュニケーション教育部門



【お問い合わせ先】 弘前大学保健学研究科
総務グループ（担当：桑田）
電話：0172-39-5518 FAX：0172-39-5912
E-mail：kuwata@hirosaki-u.ac.jp

**医工連携セミナー 医用システム開発に向けた応力計測技術講習会
—触覚センシングの概説とデモンストレーション—のご案内（再掲）**

弘前大学大学院理工学研究科附属医用システム創造フロンティアでは、医工連携で取り組んでいる医用システム開発のための要素技術を紹介するセミナーを開催します。本セミナーは、研究者、企業技術者、および今後医用機器産業への展開を考えている企業様の企画や技術担当の方、並びに学生を対象としています。是非、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

1. 日時 平成29年12月21日（木） 12:30～14:30
2. 場所 ねぶたの家 ワ・ラッセ 交流学習室(1)
(〒030-0803 青森県青森市安方1-1-1)
3. 主催 弘前大学大学院理工学研究科附属医用システム創造フロンティア
共催 ひろさき産学官連携フォーラム・医工連携研究会
日本材料学会理事会企画
4. セミナー
12:10～12:30 受付
12:30～12:35 「医用システム開発の近況紹介」
弘前大学大学院理工学研究科・教授・センター長 笹川和彦
12:35～13:25 触覚センシングの概説
弘前大学大学院理工学研究科・教授・センター長 笹川和彦
13:35～14:20 センシングシステムの概説とデモンストレーション
弘前大学大学院理工学研究科・准教授 藤崎 和弘

14:20～14:30 「医用システム創造フロンティアが提供する勉強会と研究へのお誘い」
弘前大学大学院理工学研究科・教授・センター長 笹川和彦

5. 参加費 無料

6. 参加申込および本件連絡先

申し込みは必須ではありませんが、できれば事前に申し込みをしていただけますと幸いです

弘前大学理工学研究科 附属医用システム創造フロンティア

担当：事務局 杉本 尚子 電話：0172-39-3684 e-mail：suginao@hirosaki-u.ac.jp

(参加申し込みは下記URLからWordファイルをダウンロードの上、必要事項を記載してメールにて送付ください。URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/30155.html>)

申し込み期限：12月8日（金）

弘前大学資料館第17回企画展について（再掲）

弘前大学資料館では第17回企画展「被災地と向き合う 一文化財レスキューの取り組み」を10月28日より12月16日まで開催いたします。

平成29年4月、弘前大学人文社会科学部と国立歴史民俗博物館は教育研究連携協定を結びました。この協定にもとづき、両者は協力して教育研究に携わっていくこととなりました。

今回は、その事業の一環として、弘前大学人文社会科学部と国立歴史民俗博物館を拠点とする研究ユニット「地域における歴史文化研究拠点の構築〔人間文化研究機構広領域連携型基幹研究プロジェクト「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」〕が被災地で取り組んできた文化財レスキューやボランティアの活動を紹介します、あわせて被災地の生活文化を紹介します。

みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第17回企画展

「被災地と向き合う 一文化財レスキューの取り組み」

会 期：2017年10月28日（土）～12月16日（土）

（日・祝・休日は休館）

※10月29日（日）は総合文化祭の為、特別開館いたします

時 間：10：00～16：00

場 所：弘前大学資料館

本件問い合わせ先

・弘前大学資料館

電話：0172-39-3432 E-mail：jm3432@hirosaki-u.ac.jp

・弘前大学人文社会科学部 地域未来創生センター

電話：0172-39-3198 E-mail：irrc@hirosaki-u.ac.jp



学内掲示板

学長オフィスアワー変更のお知らせ

学長と本学学生・教職員が直接対話する機会を設けるため、学長オフィスアワーを毎月第1金曜日及び第3木曜日に実施しておりますが、オフィスアワーの日程変更がありますのでお知らせいたします。

【中止】

平成29年12月1日（金）15：00～17：00

※12月は**12月21日（木）**のみの実施となります。

問い合わせ先：弘前大学総務部総務広報課（秘書室）TEL：0172-39-3004

URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/information/about/president/officehour.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第45号」では、「今、学生は！」において、本学・人文学部金融論ゼミ「日銀グランプリ」2年連続決勝進出の快挙が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第46号」

<http://www.janu.jp/report/koho/46gou.html>

（本学関連記事掲載）第45号「国立大学第45号」

<http://www.janu.jp/report/koho/45gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会，研究発表会，部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに，下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail：jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029